

南無ちゃんのブログ 2016年6月

6月1日(水) 日野川鮎釣解禁日.....	2
6月2日(木) モモの枝吊り.....	2
6月3日(金) シャインマスカットの花.....	3
6月4日(土) シャインマスカットの花穂整形.....	3
6月5日(日) 大会前の雨の日は.....	4
6月7日(火) ダイワマスターズ中国地区大会.....	5
6月8日(水) 鉄を変えて能率アップ.....	5
6月9日(木) HP改訂・草刈・副梢の摘心・ブイブイ退治.....	6
6月11日(土) ジャパンカップ中国地区大会.....	6
6月12日(日) ブドウの敵を退治する.....	7
6月13日(月) シャインマスカット1回目ホルモン処理完了.....	8
6月14日(火) 防除⑥と管理講習会.....	8
6月15日(水) LED防蛾灯の製作.....	9
6月16日(木) ソーラーパネルで防蛾灯.....	10
6月17日(金) ブドウの摘粒作業開始.....	11
6月18日(土) シャインマスカット2回目ホルモン処理1巡目.....	11
6月19日(日) ブドウネット販売ホームページの改訂.....	12
6月20日(月) 40mタワーのアンテナ降ろし作業.....	13
6月21日(火) ブッポウソウを間近に見ました.....	13
6月22日(水) 雨の日も粒間引き.....	14
6月23日(木) シャインマスカット2回目ホルモン処理.....	15
6月24日(金) 悪玉凶鑑.....	15
6月25日(土) 悪房凶鑑.....	16
6月26日(日) 視察研修旅行.....	17
6月27日(月) 防除⑦.....	18
6月28日(火) 蝶のように舞い、蜂のように刺す.....	18
6月29日(水) 房数調査.....	19
6月30日(木) カラス除けとムジナ除け.....	20

6月1日(水) 日野川鮎釣解禁日

待ちに待った鮎釣り解禁日です。午前3時に起きて、5時には生山のオトリ屋さんに到着。とりあえず急いで着替えして、川に入ってポイントをキープしました。日南町旧役場前の少し上流左岸です。平日ということもあり割と釣り人は少ないようでした。

今朝は曇っており、7時頃から竿を出しましたがなかなか掛かりませんでした。8時を回って漸く掛かり始めました。9時頃になるとソコソコ掛かるようになりましたが、サイズが小さくて大きいものでも15cm程度で、小さいのは10cmを切るようなのが混じります。

解禁初日から、新しい友達が出来ました。鮎の友釣りというのは友達を釣ることもできるのです。

11時頃から晴れましたが、風が出てきました。3時頃まで粘って、釣果は17尾でした。



6月2日(木) モモの枝吊り

モモに袋掛けをしました。4年目のおかやま夢白桃と白鳳の樹各1本の両方で約150個に袋掛けしました。袋掛けの仕方が良く分からなかったのでモモ農家のKanchanに電話で詳しく教えて頂きました。ついでに、単管パイプを立ててモモの樹の枝を上から引っ張るようにしました。モモの枝を吊る紐は明日にでも付けようと思います。モモを夜蛾から守るために防蛾灯を自作して設置する予定なので、防蛾灯を取り付けるために別に単管パイプを立てました。



朝はブドウ園(広田)で誘引作業をしました。昨日の内に満開になったブドウの花があるのではないか思っていたのですが、早いものでも未だ8分咲きという感じです。

9時半頃に役場に電話して、サルを処分するために新アンテナファームに行きました。ついでに刈り払い機で新アンテナファーム周辺の草刈をしました。

午後からは、コメリに単管パイプやモモ用果実袋を買ってきてモモの手と防蛾灯用に単管パイプを立てました。その後、坂下のピオーネの花穂整形をしました。これで、ピオーネの花穂整形は完了しました。

6月3日(金) シャインマスカットの花

シャインマスカットの花が咲き始めました。ピオーネの花は未だ満開に至りません。花が咲き始めて、満開になるまでには1週間位かかるようです。だとすれば、シャインマスカットの切り込みはこれからですが、マイペースでボチボチやっても間に合いそうです。

午前中は広田棚のピオーネの摘心、誘引、副梢の摘心作業をしました。午後からワイヤーメッシュの足元に除草剤を散布して、ブドウの幹の生え際から50cm位の高さまでガットサイドSという殺虫剤を塗りました。その後、再び広田棚で摘心、誘引、副梢の摘心作業の続きをしました。



6月4日(土)シャインマスカットの花穂整形

朝7時前からシャインマスカットの花穂整形を始めたところ、3回の休憩を挟んで、午後2時頃には完了しました。1回目の花穂整形で5cm程度に花穂整形済みだったので、楽に作業できました。

夕方から美味倶楽部と称する男の料理教室に参加してきました。



6月5日(日) 大会前の雨の日は

昨夕から雨です。中国地方は梅雨入りしたとのことで、これからはぐずついた空模様が続くようです。予定されていた地区の共同作業(草刈)は中止になりました。かといって、ブドウ園で作業するのも躊躇われたので、鮎の仕掛けを作りました。

明後日はダイワの大会があるので、明日の昼頃までに現地入りして下見しておきたいところです。仕掛けは解禁日に備えて4つ作りましたが2つロストしたので、予備が僅かです。大会前に雨降りということは神様が仕掛けを作る時間を下さったのです。9時頃から霧雨になり、12時頃には上がりました。それまでに、仕掛けを8本作ることができました。予備のラインも出来たので準備は万全です。



昨日あたりからピオーネの花が満開になっている枝がチラホラあったのでホルモン処理がしたかったのですが、雨の中でやるとジベ焼けが心配なので断念していました。しかし、雨が上がって薄日が射してきたのでホルモン処理を決行しました。

満開の花だけを選んだり、副梢を摘心したりしたため結構時間がかかりました。2つあるピオーネの棚のうち、広田棚だけで約3時間かかりました。残りの坂下棚は明日早朝に処理してから鮎釣りに出かけることにします。明日の内にちょこっとだけ竿が出れば良いのです。

6月7日(火) ダイワマスターズ中国地区大会

日野川でダイワの鮎釣り大会が開催されたので、昨日の午後から現地入りしました。昨日は下見は全くしないで、エリア外で鮎釣りを楽しみました。生山地区では大きくても15cmでしたが、ここでは20cmクラスが鮎がつかれました。勿論小さいのも居ますが、なかなか良い感じでした。岸本温泉で一汗流して、鮎友達と前夜祭で盛り上がりました。

二日酔いっぽい感じの中、大会に臨みました。早くから受付に並んだのが良かったのか、A-51というオトリ配布巡が1番という、いわばポールポジションをゲットできました。去年のように走らずに済みました。伯耆橋上流の旧の橋桁の基礎がある少し上流のチャラ瀬をポイントとして選びました。オトリ込み8尾(Aブロック6位)で予選を通過できました。

本選でのオトリ配布巡は14番目だったのですが、幸運にも伯耆橋下流の真ん中の分流れのチャラ瀬が空いていたので、そこに陣取って午前中の同じ釣り方をしました。結局、オトリ込み10尾の釣果でした。順位は11位で、上位9位までは西日本地区大会に進出できたのですが、あと一歩のところまで逃してしまいました。残念！（実は取込時に1尾逃がしてしまったのです・・・悔しい！！！！）



6月8日(水) 鉋を変えて能率アップ

ブドウのホルモン処理(ジベレリンやフルメット)の作業をしています。私はテキスト通り目印を付けているので、ブドウの軸を持ってカップの処理液に浸漬します。この時、指を入れる穴のある一般的な鉋だと、軸を持つ時に鉋が邪魔になると感じたので、鮎の仕掛け作りのために購入した(けどあまり使っていない)鉋(握り鉋)に変えてみました。

握り鉋は掌にすっぽりと収まるので、鉋を持ったまま、なんら違和感なくブドウの軸をつまむことができるのです。こりゃあ良いわ！って具合で、作業能率は格段に向上したと思います。

シャインマスカット1巡目のホルモン処理をして、次にピオーネ(広田と坂下)の2巡目のホルモン処理しました。



6月9日(木) HP改訂・草刈・副梢の摘心・ブイブイ退治

早朝は雨が激しく降っていたので、今日は農作業できないだろうと思って、ブドウ通販サイトの改訂作業をしました。1年も前に作ったPHPのプログラムの中味はすっかり忘れていました。ちょっといじってみたらエラーがいっぱい出ました。7月中旬を目処にポチポチ手直したいと思います。

雨が上がったので、11時頃からブドウ園に行って、昨日の続きの草刈と副梢の摘心ならびにブイブイの退治作業をしました。

6月5日にホルモン処理したピオーネの大きいものは実が小豆粒程になっています。そろそろ防除もしなければならぬし、ホルモン処理が未だ残っているし・・・忙しいなあ！



6月11日(土) ジャパンカップ中国地区大会

シマノジャパンカップが先日のダイワマスターズと同じ日野川の岸本地区で開催されました。朝が早いので、昨日から現地入りしていました。

くじでゼッケン番号を引くのですが、18番と比較的若い番号だったので、ダイワの大会と同じ場所に入ることができました。しかし、今回はなかなか掛からず、長い3時間でした。結局掛かったの

は1尾のみで、予選敗退でした。本選の途中で雷雨になり、早めに切り上げられました。抽選会は外れでしたが、雨が上がって時間もあつたので、2時間ばかり鮎釣りを楽しみました。

参加選手の顔ぶれは、ダイワマスターズとほぼ同じでした。ブドウの作業が忙しい時期に、同じ場所で、ほぼ同じ時期に、ほぼ同じ顔ぶれの鮎釣り大会に参加するのもどうかなあと思ったりもしました。来年はどちらかに絞りたいと思います。2日も時間を都合しようと思うと、相当無理があります。前倒しできることは前倒して、後回しできることは後回した上で、どうしても2日の内にやらなければならないことを初日の午前中にしてやりくりしました。



6月12日(日) ブドウの敵を退治する

この頃ブドウ園でマメコガネ(豆黄金虫)を良く見かけるようになりました。葉を食べるだけならいざ知らず、ブドウの花や実を食べたりするので、ブドウの敵です。

数が少ない時は潰して処理していましたが、面倒なので殺虫剤(スミチオン乳剤100倍)を入れたPETボトルに追い落として始末しています。去年は500mlのPETボトルを使っていましたが、今年は醤油か何かが入っていた2LittleのPETボトルを使いました。大きいと虫を捕捉するエリアが広いので、使いやすくなりました。また、地面に置く時は座りが良くて安定しているので助かります。

午後から雨が降り始めましたが、午前中は曇りだったので暑くもなく農作業に適した天気でした。午前中はマメコガネ退治、シャインマスカットの副梢の摘心、モモの手としてのマイカ線張り、草刈などをしました。午後からは雨が降り始めたので、のんびりと過ごしました。



6月13日(月) シャインマスカット 1回目ホルモン処理完了

朝一番にシャインマスカットの1回目ホルモン処理(3巡目)をしました。これで漸く1回目のホルモン処理が完了したので、明日は防除をしたいと思います。

2016年ブドウ ฮอร์โมน処理実施日			
	ピオーネ1回処理	シャイン1回目	シャイン2回目
1巡目	6月5日	6月8日	6月18日頃予定
2巡目	6月8日	6月10日	6月23日頃予定
3巡目	6月10日	6月13日	

ピオーネのホルモン処理は1回処理としていますが、シャインマスカットは2回処理なので、もう暫くホルモン処理が続きます。果粒の大きいものは6月18日頃に、その他のものは6月23日頃に実施する予定です。

ホルモン処理が1服したので、電柵に通電できるようソーラーパネルやバッテリーおよび高電圧発生器を設置しました。

先日の鮎釣り大会は雷で打ち切りになりましたが、雷のシーズン到来です。簡単に降ろせるアンテナから先に下ろしました。これで、DX遊びは当分の間お休みです。



6月14日(火) 防除⑥と管理講習会

朝5時に起床して、6時から防除作業を開始しました。JAびほくの防除暦でいうところの⑥の防除です。ペンコセブ水和剤×1000倍とサムコルF10×5000倍の薬液を最初200L作りましたが、半分程散布した時に150L消費していたので、100L追加作成しました。結局合計で300L散布して、8時半頃には作業を完了しました。

少し休憩した後に、管理講習会に参加しました。まだまだ、ブドウ作りに関してはビギナーなので、為になるお話を沢山聞くことができました。

午後から、ブドウ園に行ってビニールの天井に着きそうな枝を誘引したり、マメコガネを退治したり、草刈をしました。マメコガネはブドウ園の外から飛来しているようなので、ブドウ園に隣接する土地の草刈をすれば改善されるかなあ？改善してほしいなあ！と思いつつ草刈作業をしています。



6月15日(水) LED防蛾灯の製作

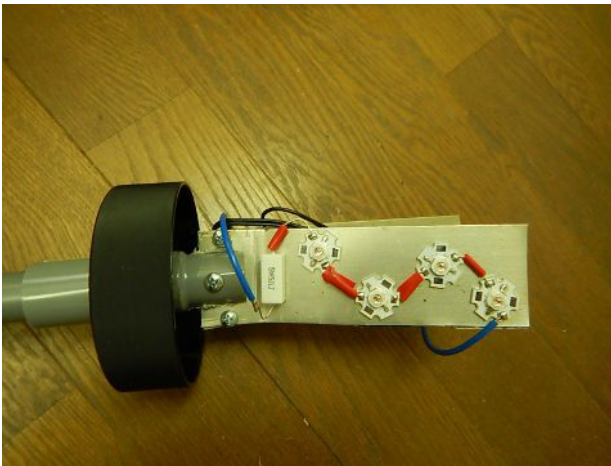
去年モモの実が成るには成ったのですが、夜蛾に射されて腐っていました。今年こそ自家製の美味しいモモが食べたくて、防蛾灯を設置することにしていました。防蛾灯を自作するというプランは半年以上前から持っていたのですが、今がその時です。

防蛾灯の原理は、光によって夜蛾が昼間と勘違いして活動しなくなる(近づかなくなる)ということのようです。波長 580nm の光が有効だと云われていますが、先述の原理によれば波長は無関係のようにも思えます。ブロードな(広帯域な)光だと、夜蛾のみならず農作物なども昼間と勘違いしてしまって、副作用があるということなのではないでしょうか??? 一般的に、多くの昆虫は 350nm あたりの波長の光(青色)に反応するようで、これは走行性と呼ばれており、その波長の光を好んで寄って来るのです。まさに飛んで火に入る夏の虫という奴ですね。逆に夜蛾は 580nm の光を嫌うようで、負の走行性と呼ばれているようです。580nm という波長は普通の昆虫は光と認識せず、夜蛾は昼間だと勘違いする...そういう便利な波長なのではないでしょうか。(因みにナトリウムランプのスペクトルは D1: 589.6nm と D2: 589.0nm で、今回使った LED のスペクトルに非常に近いものです。)

2020 年には蛍光灯が製造禁止になろうかというご時勢なので、発光素子はやはり LED にしました。LED の防蛾灯が販売されていますが、とても高価で手が出ません。そこで、秋月電子で販売している黄色のパワー LED (3W) 使って、自作することにしました。この LED の波長は 590nm で $V_F=2.8V@I_F=700mA$ という代物です。これを 4 個直列に接続して、 5Ω (5W) の抵抗器で電流制限しました。これを 2 回路並列にして合計 8 個の LED の構成にします。

パワー LED は放熱のためにアルミ板に瞬間接着剤で貼り付けました。配光のために、アルミ板は折り曲げて光軸がやや下向きになるようにしました。防水のために、LED を貼り付けたアルミ板はネスカフェエクセラの空き瓶に入れました。何となく照明器具らしい感じになりました。

さて、今年は美味しいモモが食べられるかしら?



6月16日(木) ソーラーパネルで防蚊灯

昨日製作した防蚊灯はブドウ園の中のモモの樹の傍に設置します。残念ながら商用電源はないので、昼間ソーラーパネルで蓄電して防蚊灯を夜間点灯することになります。注文していたソーラーパネルが昨日配達されたので、今日は駐車場の中で予備実験をしました。

ソーラーパネルはキャンピングカーの屋根に載せているものと全く同じものです。こうすることで、もしもキャンピングカーのソーラーパネルが故障しても予備があるので安心です。防蚊灯の消費電力18Wに対して100Wのパネルなので、夜通し点灯しても大丈夫だと思いますがどうなることやら？

昼過ぎから雨が強く降り始めたので、「これは良いチャンス！」ってなもんで、太陽光発電所の掃除をしました。黄砂などで汚れていましたので綺麗になでなでしてあげました。なにしろ、この売り上げが、私にとって稼ぎ頭なのですから。



6月17日(金) ブドウの摘粒作業開始

まだ粒が小さいのですが、二年目のビギナーなので早めにやり始めました。でも、あまりにも粒が小さい房はパスしました。どうやったら目標の35粒程度になるのか、感触を掴みながらの作業初日でした。これからかなり長い期間、この作業が続くんだろうなあとと思うとちょっと気が重くなります。

午後から、1時間程摘粒作業を中断して、防蛾灯を設置しました。



6月18日(土) シャインマスカット 2回目ホルモン処理 1巡目

昨夕、櫃石島の民宿でプチ同窓会だったので、今日は朝帰りでした。今日は暑い一日でした。以前から予定していたシャインマスカットの2回目ホルモン処理をしました。その後で、天井に頭が届いた枝の誘引作業をしたら昼になりました。あまりの暑さに戦意喪失したのと、昨晚寝付くのが遅かったため眠くなかったので、3時頃まで昼寝をしました。

午後3時頃から再びブドウ園に行って副梢の摘心作業とブイブイ退治をしました。左下のの写真は定植2年目のデラウェアです。



6月19日(日) ブドウネット販売ホームページの改訂

朝から雨降りだったので、ブドウのネット通販のホームページを改訂しました。今年はシャインマスカットが沢山収穫できそうでもあり、ご要望も多かったので、シャインマスカットだけの2kg箱も商品としてラインナップしました。

市場に出す時には青秀、赤秀、優、良などにグレードに分けるようですが、ベテラン農家や市場関係者以外には分かりにくいので、誰にでも分かるように房数だけでグレードを分けました。

ピオーネとシャインマスカットのグレードを其々2段階に分けて商品化したので、品数が2つから5つ増えたためプログラムを変更しました。

昨年は初収穫の年だったので、サービスとして送料を無料にしましたが、売上の約1/4が送料だったという事実を踏まえて、幾らかご負担してしていただくようにしました。実際には、送り先によって送料は異なるのですが、計算が楽にするために全国同一料金にしました。

最近、値引きというのを見かけなくなりましたが、値引きを断行します。2箱以上お買い上げ時には500円、合計金額は1万円以上の場合は更に500円値引させていただきます。

そんなこんなで、若干プログラムが複雑になりましたが、何とか3時頃までにはデバッグも完了してホームページを更新することができました。予約販売は8月1日から開始する予定です。ご注文宜しく願います。(葡萄園でいいぶあふる・ブドウのネット通販 <http://www.namva.jp>)



標高430mの高原で育まれた甘くて美味しいブドウをお届けします！

特徴 栽培適地なので甘くて美味しい
農家直販だから新鮮で高品質なのに格安
代金後払いなので安全安心
価格は税および送料込み

**2016年産ブドウは8月1日から
予約受付いたします。
暫くお待ちください。**

- ▶ トップページ
- ▶ お買い物について
- ▶ 予約注文
- ▶ 葡萄の種類
- ▶ 農園のご案内
- ▶ お問い合わせ

品名	単価
ピオーネ2kg箱 (5~6房詰)	3,000円
ピオーネ2kg箱 (3~4房詰)	3,500円
ピオーネとシャインマスカット 詰め合せ2kg箱 (4~5房詰)	4,000円
シャインマスカット2kg箱 (5~6房詰)	5,000円
シャインマスカット2kg箱 (3~4房詰)	6,000円

6月20日(月) 40mタワーのアンテナ降ろし作業

梅雨も本番になり雷が気になるシーズンになりました。1週間程前からアンテナを降ろすタイミングを見計らっていたのですが、今朝は風が弱かったので決行しました。6時半頃から始めて、9時頃には終了しました。朝からヘビーなタスクでした。これでひと安心です。

40mタワーには電動ウインチ付きのアンテナエレベータが取り付けられているので、7MHz用2エレ八木を降ろす時には次のような手順で作業します。

1) 工具を入れた袋と命綱(昇降移動用親綱ロープ)をエレベータに取り付けてアンテナトップまで上げる。

2) 命綱を付けて40mのタワーを自力で登る

3) アンテナマストにレバーブロックを取り付けて、アンテナを吊る

4) アンテナのクロスマウントのUボルトを外す

5) アンテナをレバーブロックで吊ったまま、アンテナエレベータのマストに付け替える

6) 命綱を付けて40mのタワーを自力で降りる

7) アンテナタワーのステーを外す

8) アンテナエレベータを下ろす

9) アンテナタワーのステーを再度取り付ける

以上のような具合で、結構面倒です。



その後はブドウ園で黙々と粒間引き作業をしました。疲れたビ〜〜〜！

6月21日(火) ブッポウソウを間近に見ました

ブッポウソウとは鳥の名前で、吉備中央町のマスコットキャラクターであるヘソッピーのモデルにもなっていて、環境省のレッドブックで指定された絶滅危惧種の希少な鳥でもあります。町のホームページによると「森の宝石」と言われているそうで、青みがかかった美しい翼を持っています。

私のブドウ園近くに設置された巣箱に営巣していて、今年は3個の卵を産んでいるということを知り、巣箱を管理している人から聞いていました。ブッポウソウは渡鳥で、夏に日本にやってきて繁殖します。私のブドウ園近くの巣箱は、いわば吉備中央町の別荘なのです。

今日、たまたま、ブドウ園で作業していて、お茶をしようと思って帰る途中でブッポウソウを捕まえ

て体長や体重を測定したり、足環をつけている人に出くわしたので、ブッポウソウの話の聞いたり、写真を撮らせてもらったりしました。

こんなに間近にブッポウソウを見るのは初めてでした。遠くから見ると黒っぽく見えましたが、間近で見ると確かに美しい鳥でした。



6月22日(水) 雨の日も粒間引き

今日は朝から雨で、ほぼ一日中雨降りでした。雨が降っても、ブドウ園に行って粒間引き作業をしました。簡易トンネルではありますが、ビニールのお陰で作業をしても雨に打たれることはなくて、むしろ日が射すよりも涼しいので落ち着いて作業できました。陽射しが弱くても蚊が寄って来ることなくて、むしろ快適でした。

粒間引き作業をしながら、ホルモン処理をし忘れた房をいくつも発見して、最初の内はがっかりしていましたが、その内にラッキーと思えるようになってしまいました。何故かと言うと、ホルモン処理が未処理の房は粒間引きをしなくて良いので、房元から「プツン」すれば間引き処理終了となり、手間が省けるという訳です。それくらい面倒で手間のかかる作業なのです。あまりにも時間がかかり過ぎているような気がしたので、先輩ブドウ農家の Kanchan さんに電話して粒間引きの要点をレクチャーしてもらいました。お陰で、少なからずとも処理速度がアップしたような気がします。

写真は左が粒間引きの Before で、右が After です。



6月23日(木) シャインマスカット 2回目ホルモン処理

今日は昨日と違って変わって晴れて、真夏の太陽が照りつける日でした。ピオーネの摘粒作業を1時間程やってから、シャインマスカットのホルモン処理(2回目)をしました。これが最後の作業なので、見落としのないように慎重に作業しました。

そろそろシャインマスカットの粒間引きも出来そうですが、まだまだピオーネの粒間引きが残っています。今日も炎天下で、黙々と粒間引きをしました。



6月24日(金) 悪玉凶鑑

今日も地道に黙々と粒間引きをしました。同じ作業が続いて、かなり飽きてきました。7時頃から始めて9時すぎまでは曇り空で良かったのですが、9時過ぎから雨が降り始めて、次第に本降り・土砂降りになってきたので、家の中で趣味のホームページ(<http://www.namva.net>)の内、鮎釣りのページを改訂しました。昨年7月からブドウが忙しくなったので全く更新しておらず、心苦しく思っていました。本日更新できたので、開放された思いです。

午後から小降りになったので、ブドウ園に行って粒間引きの続きをしました。段々と粒間引きの仕方というか手順が分かってきました。先ず最初に、悪い粒(悪玉)を取り除かねばなりません。どんな粒が悪玉なのか以下の写真に示します。

- 1)変形粒(ハート型)
- 2)変形粒(大黒様の帽子・笑窪)
- 3)傷物
- 4)発育不全



6月25日(土) 悪房図鑑

今日も朝から晩まで辛抱強く粒間引き作業をしました。天気は曇りで少しだけパラッと雨が降りましたが、こんな天気の方が涼しくて作業には適しています。(昨日は暑かった・・・)

あと一日でピオーネの粒間引きが終わりそうな処までやっと漕ぎ着けることができました。粒間引きをやっていて、悪い房を見つけるとがっかりします。どんな房が悪いのか写真で説明します。

写真左上: 着粒過少 粒が少なすぎて売り物にならない

写真右上: 着粒過多 粒が多すぎて粒間引きに手間がかかり過ぎる

写真左下: 未ホルモン処理 ホルモン処理を忘れているので生長せず売り物にならない

写真右下: 食害 マメコガネの食害のため売り物にならない

これらの悪房の中で最も悪いのが、「着粒過多」です。粒の間引きに手間がかかり過ぎです。着粒過多になっているのは扁平な花穂のものが大半です。花穂の切り込み時に、この手の花穂は避けるようにするのが無難なようです。

売り物にならない悪房は、房ごと摘んで捨てていましたが、サルの餌にすることを思い立ちました。折角ここまで育ったのですから、猿捕獲檻に餌としてぶら下げて、サルを捕獲するのに役立てたいと思います。ブドウの房は結構日持ちがするので、サルの餌として役に立つと思います。



6月26日(日) 視察研修旅行

今日は町内会の親睦と研修を兼ねて、広島県東部方面に行きました。世羅町の世羅ワイナリー、農事組合法人聖の郷かわしりなどを訪れた後、福山市鞆の浦の欧風亭で昼食・日帰り入浴というコースでした。

今日は6・26ということで、そういえば露天風呂の日だったなあ！？ということをお風亭の露天風呂にはいつか思い出しました。

5時過ぎには帰宅できたので、FIMASAO でブドウ園の草刈をして明日の防除作業に備えました。



6月27日(月) 防除⑦

今日は晴れの予報だったので、防除暦⑦の防除作業を行いました。昨夕から動力噴霧器を軽トラに積込んで準備していたので、朝6時半から作業を開始して、概ね9時頃には終了しました。その後家に帰ってお茶をしたり道具を洗ったりしていると10時半を廻っていました。

防除⑦ではオンリーワン F2000 倍、レーバス F3000 倍、コテツ F2000 倍の薬液を最初 200 リットル作成したところ、広田(8列)と東(4列)で概ね消費してしまったので、坂下(6列)のために 100 リットル追加作成しました。

昼飯前にブイブイ退治をしたり、秋クイーンやデラウェアの若木の世話をしました。写真左下はピオーネ、写真右下はシャインマスカットの今朝の様子です。花の状態に比べると随分大きくなりました。

午後2時頃から、坂下ブドウ棚の粒間引きをしました。6時過ぎまでに16スパンの粒間引きが完了して、ピオーネの残りは8スパンのみになりました。シャインマスカットの64スパンは未だ手付かずです・・・鮎釣りに行きたいところですが、今週も雨マークが多いのでブドウの世話を頑張ります。



6月28日(火) 蝶のように舞い、蜂のように刺す

Float like a butterfly, sting like a bee.とは去る6月3日永久の眠りについでた英雄モハメド・アリ氏の言葉です。

スポーツに疎い私でも、1974年ザイルでのフォアマン戦やアトランタ五輪の聖火台のことはリアルタイムで見て記憶しています。

ブドウの粒間引き作業をやっている、この言葉を思い出しました。ブドウの軸は少くは捻ることで回転しますが、あまりやり過ぎると折れてしまうので、自分の立ち位置を変えてブドウの房の状態を良く観察しながら、鋏をブドウの粒の適切な位置に移動させて素早く切断するのです。じっとして作業するよりむしろ動きながら作業したほうが疲れないう感じがします。

今日でピオーネの粒間引きは一通り完了しました。写真左上は、全く鋏を入れる必要が無かった房です。こんな房ばかりだと作業が凄く楽です。2000房に1つの出現確率でした。良く観察してみると、3粒つつ10車で合計30粒の房です。

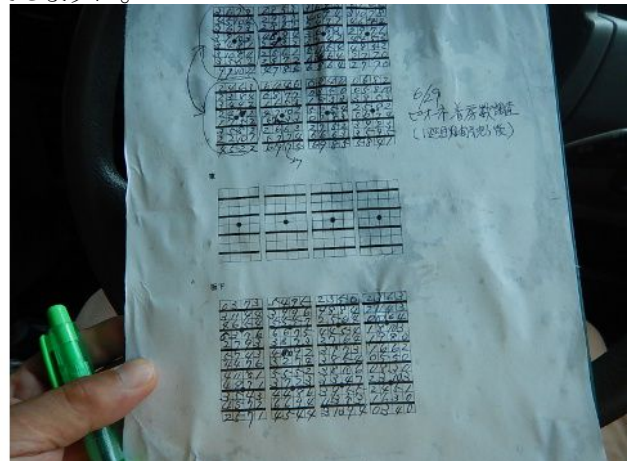
午後からシャインマスカットの果軸調整作業をしました。昨年自作した果軸調整棒が大変役に立ちました。(写真右上)



6月29日(水) 房数調査

今朝の早い時間帯には雨が上がっていたので、ブドウの房数調査と雨対策として排水路の確保をしました。今更雨対策？の感がありますが、これから梅雨末期にかけて大雨の可能性が高くなるので、予防措置として斜面の坂道に溝を掘って水はけが良くなるように対策しました。シャインマスカットの房数は6月15日に数えていたのですが、ピオーネの粒間引きがやっと終わったので房数を数えました。その結果、ピオーネは約2000房、シャインマスカットは約700房です。ピオーネは昨年の約2倍、シャインマスカットは約6倍です。どおりで粒間引きに手間がかかった訳です。房数からすると、シャインマスカットの粒間引きには3~4日かかりそうですので、早めに着手したほうが良さそうです。

徐々に雨脚が強くなり9時頃には本格的に降り始めたので、外での作業は切り上げて、パソコンでゆうパックプリントRという送り状アプリの使い方を勉強しました。午後からは、モモを譲ってもらうために赤磐市方面にドライブしてきました。午後から凄い雨になり、旭川は濁流・大增水でした。旭川での鮎釣りは当分の間見合わせることになるでしょうね。



6月30日(木) カラス除けとムジナ除け

自然豊かな山奥に住んでいるので、色々な鳥獣も棲んでいて、たまには被害に遭うこともあります。有害な鳥獣から作物を守らねばなりません。

イチジクやキュウリをカラスから守るために、スズメバチの模型(コナイカラス)を設置しました。去年はこれが効きましたが、今年はどうでしょうか？

ブドウをムジナ(アナグマ)から守るために、ポリカーボネートの波板をブドウの幹に巻きつけました。去年は中古のトタン波板を巻きつけましたが、重い上にブドウの幹を傷つけそうだったので、今年はポリカ製を新調しました。何年も繰り返し使えると思います。

今日は雨の予報でしたが、一滴も降らず曇り空でしたので、快適に農作業をすることができました。シャインマスカットの粒間引きをしました。

